

巴里のアメリカ人 An American In Paris

観賞日 2019・4・22

制作 1951 年 米
原作 アラン・ジェイ・ラーナ
監督 ヴィンセント・ミネリ
音楽 ジョージ・ガーシュイン (作曲)
アイラ・ガーシュイン (作詞)
出演 ジーン・ケリー (ジェリー)
レスリー・キャロン (リズ)



【あらすじ】

ジェリー・モリガンはパリに住むアメリカ人。退役軍人であるジェリーは画家になることを目指し大戦終了後もパリに住んで、絵の勉強をしている。ジェリーの友人アダムにはアンリという知りあいの歌手がいる。アンリは今、リズという 19 歳の娘に恋をしている。リズはかつて親代わりに面倒を見た娘だ。ある日、ジェリーはモンマルトルの丘で絵を観た女性、ミロからパトロンとして援助したいという申し出を受け食事に行く。その店でジェリーはリズと出会い恋をする。ジェリーの強引な誘いを嫌がっていたリズであったが次第に心を開き始める。しかし、ジェリーは何か引っかかるものを感じていた。ミロはジェリーのためにアトリエを用意し、3 か月後に個展を開くように言う。リズのことが気になるジェリーはアダムにリズのことを話すが、そこにアンリが現われ、ジェリーの相手がリズであることを知らないアンリはジェリーに恋愛指南をする。互いに愛しながら、しがらみから抜け出せない二人。二人は果たして結ばれるのだろうか？

花の都、芸術の都、憧れの都パリで繰り広げられるラブ・ストーリー。

MGM ミュージカルのシンボルの作品。

【解説】

■ポイント

●MGM ミュージカルの代表作

- ・製作＝アーサー・フリード、監督＝ヴィンセント・ミネリ、主演＝ジーン・ケリーは MGM ミュージカルの黄金トリオ
- ・MGM ミュージカルの集大成作品「ザッツ・エンターテインメント」でラストを飾った作品

●ジョージ・ガーシュウィン (1898 年～1937 年)

- ・アメリカの作曲家。ポピュラー音楽、クラシック音楽両方で活躍
- ・代表作：「ボギーとベス」「ラブソディ・イン・ブルー」「巴里のアメリカ人」

●受賞 アカデミー賞 7 部門受賞

作品賞、美術賞、撮影賞、衣装デザイン賞、作曲賞、脚本賞
名誉賞 (ジーン・ケリー)

■見どころ

●ラストのケリーとキャロンのダンスシーン

長時間にわたるダンスシーン

●ガーシュインの曲

一度聴いたら忘れられない特徴のある楽曲